

にこっと通信

nicotto tsu-sin!



にこっとちゃん

2005. 4. 15

第9号

発行／
ぐんまこどもの国児童会館



ゴールデンウィーク企画

「ジャングルパーク～冒険の森へようこそ～」

- ◆ 開催日 4月29日(金)～5月8日(日)
- ◆ 時 間 9:30～17:00 ◆ 会 場 多目的ホール

多目的ホールにジャングル出現! アスレチックコーナーで元気いっぱい冒険しよう。他にも工作コーナー、小さい子どもも遊べる幼児コーナーなどもあります。



関連事業

- バンブーダンス
5月3日(火)・4日(水)・5日(木)
14:00～14:30 15:00～15:30
3拍子のリズムにのって楽しく踊りましょう。
- トレジャーハンター(宝探しゲーム)
5月1日(日)・7日(土)・8日(日)
13:30～14:30 15:00～16:00
チーム対抗戦で、児童会館の中に隠した相手チームの宝を探します。

ぐんま母親クラブフェスティバル ～ひかっているネ お母さん!!～

地域のお父さん、お母さんが、今年も楽しい催しをたくさん開催します。人形劇や影絵、工作などがいっぱいです!!

- ◆ 開催日 5月15日(日) ◆ 時 間 10:00～15:00
- ◆ 会 場 館内各所、公園内



スペースシアター

● プラネタリウム上映時間

2月5日(土)～6月5日(日)

時間	11:00	13:00	14:30	15:30
曜日				
平日			プラネタリウム	
土・日・祝日	星空散歩	プラネタリウム	こども映画館	プラネタリウム

※プラネタリウム

「星座メルヘンストーリー～不思議のまちの星占い～」

● プラネタリウム夏番組は6月11日(土)からです。

休館日

4月… 4日(月)・11日(月)・18日(月)・25日(月)

5月… 9日(月)・16日(月)・23日(月)・30日(月)

6月… 6日(月)・13日(月)・20日(月)・27日(月)

お問い合わせお申し込みは



ぐんまこどもの国児童会館

〒373-0054 群馬県太田市長手町480

TEL.0276(25)0055 FAX.0276(25)0059

URL <http://www.sunfield.ne.jp/~kodomo01/>

力を合わせて地域で子育て みらい子育てネット「地域活動連絡協議会」

地域活動連絡協議会（母親クラブ）とは「まちの子は みんなわが子」を合言葉に、子ども達がのびのびと健全に育つことを願って、児童館等と連携をとりながら地域ぐるみでボランティア活動をする組織です。今回は、その活動を紹介します。

●主な活動内容

地域活動連絡協議会のメンバーは児童を持つ保護者や、地域の児童健全育成に関心のある人たちで、お互いに行き届くことを提供しあって活動を展開しています。また、子ども達を守り育てることはもちろん、自らの資質向上をはかることにより、常に時代に即した活動を提供し続けています。

1. 親子及び世代間の交流・文化活動

季節の行事、昔遊び、手芸教室、ファミリーコンサート等、子ども同士、家族、親子、お年寄りとの交流を深めています。



2. 児童養育に関する研修活動

人形劇、読み聞かせ、施設見学、講演会、機関誌発行等、子ども達の健全育成や、会員自身の資質の向上を目指した活動を行っています。



3. 児童事故防止のための活動

交通安全指導、遊び場点検、パトロール等、事故（非行、いじめや犯罪）から子ども達を未然に守る活動を行っています。



4. 児童館日曜等開館活動

日曜日、祝日に児童館を利用し、児童の居場所の確保を図るとともに、親子行事等の企画、運営を行っています。



5. その他児童福祉の向上に寄与する活動

行政機関や各種団体との連携、児童館、保育園、幼稚園、小学校、公民館等の行事への共催を行っています。

●地域での活動

「ぐんま地域活動連絡協議会」には現在29クラブが所属し、それぞれ県内各地で活動を行っています。地元地域内外で活躍している3グループを紹介します。

○ぽっぷっこ〜ん（太田市宝泉児童館母親クラブ）

人形劇を中心に太田市内のほか、移動児童館として県内各地で公演を行っています。ぽっぷっこ〜ん風にアレンジされた、ゆかいな昔話や子どもが参加するミニゲームなどが大好評です。



○人形劇のドレミ座と軽音楽のミュージックママレタス（大泉町地域活動連絡協議会）

個々の活動の他、毎年2月には、ドレミ座の公演にママレタスが協力し、大泉町の児童館4館でペープサートやリズム体操など、保育園・幼稚園児や親子教室の参加者を楽しませています。



○つつみオアシス（群馬町堤ヶ岡母親クラブ）

群馬町内を中心に、人形劇や影絵、大型紙芝居などを行い、毎年「集団七五三祝い」などの行事を町内の保育園・幼稚園児を集め盛大に行っています。



★「母親クラブフェスティバル」

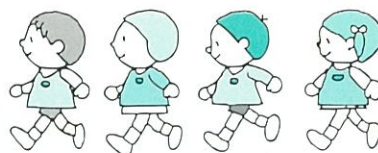
毎年5月には、ぐんまこどもの国児童会館で「母親クラブフェスティバル」が開催されます。日頃、地域で個々の活動を行っているクラブ員が集まり、人形劇や朗読劇、工作など、子ども達に楽しい催しを提供します。

地域活動連絡協議会の各クラブでは、子ども達にも身近なお父さん、お母さんなどが互いに協力しあって活動しています。核家族化が進み、社会とのつながりが希薄になりがちな現代では、地域ぐるみで子ども達の成長を見守っていく、このような活動がますます必要となることでしょう。

地域のクラブ活動内容等のお問い合わせは、下記までご連絡ください。

● ぐんま地域活動連絡協議会・連絡先 ●
群馬県青少年こども課 電話027-226-2623

学力問題の根源を考える



—活力に満ちた、子どもの健全育成をめざして—

<「学力低下」をめぐる論議>

昨年12月、二つの国際調査(OECD、IEA)の結果が相次いで発表され、それ以降「学力低下」とその対応に関する記事が何度か新聞紙上にとりあげられました。一つは、15歳を対象とし、実生活への応用力をみるテストで、3年前との比較です。結果は「読解力」8位→14位、「数学的応用力」1位→6位、「科学的応用力」2位→2位、新たに加わった「問題解決能力」4位というものです。もう一つは、中学2年と小学4年を対象とし、数学(算数)と理科の基礎学力をみるテストで5年前との比較です。結果は中2「数学」5位→5位、小4「算数」3位→3位、中2「理科」4位→6位、小4「理科」2位→3位というものです。

これを受ける形で、文部科学大臣の「総合学習見直し」や「全国テスト」による競争を軸とした教育など、「ゆとり教育」発言が続きました。そして、今秋までに「ゆとり教育」を柱とした現行学習指導要領の全面見直しが指示されました。

これには、競争の意味や「学力観」「学力概念」のちがいなどから反論も出ています。とにかく、単に順位を競うのではなく、どんな学力が不足し、どう対応するか、「ゆとり教育」がどんな社会状況(詰め込み・受験戦争・非行やいじめ・不登校の急増など)の中で導入され、その時と社会状況がどう変化しているのか等を十分に分析・検討する中での対応が望まれます。

<「学力観」と「学力概念」>

現在、文科省・経済界などから強く求められる「学力」は、「創造性、主体的な思考力、学び方を身につけ生涯にわたって活用する能力、個性的な問題解決能力など」です。これは、「社会や時代が求める学力」であって、一つの観点や立場から強調される「現在育てるべき学力」と言います。それは、「意欲や関心重視」の「新しい学力観」で、現行の学習指導要領の延長線上にあります。

一方、旧来の「読み・書き・計算」を基礎と考える「基礎学力重視」の「学力観」も根強くあります。しかし、この両者は必ずしも相反するものではなく、相互に補完しあう関係にあると言えるでしょう。

ちなみに、「学力概念」としては、「目標(理念)学力」(あるべき学力)、「測定学力」(到達水準学力=ペーパーテストなどで測定され、数値化できる学力)、「形成(潜在)学力」(事実として存在するが、外からは完全にとらえられない学力)があります。なお、学力は能力の一部です。

<学力問題の根源に関わること>

現在の学力論議が、「測定学力」を中心にしたものであるにせよ、その向上に向けて「学力の構造とその構成要素」の面から検討し、加えて学校現場での指導法等の工夫も問題にしなければならないことは当然です。

しかし、学習素材を提供する側が如何に工夫をこらしても、学習する主体である子どもたちに、自ら学ぶ姿勢がないと学習は成立せず、学力の向上は望めません。その力ギとなるのが「学習意欲(やる気)」です。詳細は後日に譲りますが、さらに「意欲」を支える根源的なものとして「生活リズム」があります。「生活リズム」が整っていないと意欲や気力が湧いてきません。

「生活リズム」を整える基本は、食事と睡眠です。決まった時刻にきちんと食事を摂り、寝起きすれば、「生活リズム」は安定します。しかし、これが乱れると、体の不調をきたし、気分も勝れません。そのような状態が続くと、意欲や気力が充実しないばかりでなく、非行・暴力・不登校等の問題行動の遠因ともなりかねません。

しかし、平成12年度総務庁調査では、児童が午後10時以降に就寝する率は、小学4年生42%、5年生62%、6年生79%で、とくに11時を過ぎる率が5年生12%、6年生25%と、夜更かしの子どもが増えています。この傾向は幼児期からで、同年日本小児健康協会の調査では、夜10時以降に就寝する子どもが、2歳児59%、3歳児52%、4歳児39%、5歳児40%で、各年齢とも激増しています。

その結果、寝不足が影響して、朝から「ぼんやり」「食欲がない」「だるい」などの症状を訴えるなど、日常活動が不活発となります。さらに、友だちや先生・親に対してイライラ、ムカムカすることも寝不足との関連が指摘されています。こうした状況は、著しく意欲や気力の減退をきたし、少なからず「学力低下」の遠因となっているのではないのでしょうか。

「生活リズム」の回復は、今日からでも取り組める学力向上対策の一つです。到達度世界一のフィンランドでは、塾も予備校もないそうです。学校での対応もさることながら、早寝早起きを実行し、いわゆる予習復習をしっかりとやることで確実に学力は向上します。低学年は習ったことの反復練習(復習)を、高学年・中学ではやってみてわからないことを明確にしておく予習を中心にする事で、かなりの効果が期待できます。

いきいき ボランティア

佐藤勝彦さん

ある時は腹話術人形のケンちゃんと絶妙なボケとツッコミを演じてくれ、またある時は楽しい解説を交えて様々なマジックを披露してくれる、ボランティアの佐藤勝彦さんにお話をお聞きしました。



佐藤さんと腹話術の出会いとは約20年前。「100回汗かき恥かき台本書き」しないと上手にならない。」というお師匠さんの言葉を胸に、今も忙しい仕事の合間をぬって練習に励んでいる佐藤さん。腹話術だとすぐに時間が終わってしまうと次に始めたのがマジック。今は

とてもハマっているそうです。

児童会館のボランティアになったのは、平成9年のこと。たくさんの方が集まるところで、楽しみながら趣味のマジックや腹話術ができ、見た人に喜んでもらえると考えたのがきっかけだったそうです。

今では、デイサービスセンターや幼稚園など月3～4回のペースで活動しており、8年間で360回もの公演を行ってきたそうです。「口が動いていたよ」「タネバレバレ！」と時々子どもから言われるのは落ち込むけれど、それが良い教訓になる。ほめられてばかりでは自分が天狗になってしまうから。好きだから続けられるし、新しい演技も覚えていきたい。」と今後の抱負も語ってくれました。



6月12日(日)には、佐藤さんと仲間たちで行う「マジック おんがく&腹話術ショー」があります。ぜひ見に来てください。

プチサイエンスショー

～びっくり・楽しい科学実験ショーを行っています!～

昨年5月から始まったプチサイエンスショーは、幼児から小学生を対象に、身近にある材料を用いた科学実験ショーです。

1月・2月に開催された「静電気でパチパチパラダイス」では、スズランテープで作ったふわふわの電気くらげを、アトバルーンを使って自在に操ったり、手に持った蛍光灯を静電高圧発生装置に近づけて点灯させたりしました。また、液体窒素を使って-196℃という超低温の状態を作り出し、様々な物が凍る様子を観察した「冷たいはなし」や大気圧や空気を用いた「空気であそぼう」、酸性度により色の変化を見る「酸とアルカリ」なども好評でした。

楽しい科学、不思議な科学を子ども達に体験してもらい、科学を大好きになってもらいたい。そんな願いを込めたプチサイエンスショーは、当館でも多くの子ども達に参加して頂きたいコーナーのひとつです。



<4・5月の開催予定>

「科学マジック」

- ◆ 日 程 4月23日(土)・29日(金)、5月21日(土)
- ◆ 時 間 11:00～、13:30～、15:00～(各回20分)
- ◆ 場 所 1F・ハイビジョンシアター

公園レタス

こどもの国自然ふれあいクラブ 会員募集

こどもの国自然ふれあいクラブは、小鳥や昆虫、植物などの観察のほか、アウトドアクッキング、ハイキング、クラフト、ツリーハウス作りなど、大人も子どもも一緒にぐんまこどもの国内外で自然を楽しむという会です。

子どもに自然を体験させてみたいけれど、自分も野山で遊んだことがない。ちょっと自信がない。そんなお父さんやお母さんも大歓迎です。みんなで野原に出てみませんか？

活 動 日:月に1回(日曜日)

年間会費:大人 (18歳以上) 1,000円

こども(18歳未満) 500円

※ただし、保護者が会員のこと

○お試し参加(無料)も大歓迎です

●お申し込み、お問い合わせ●

ぐんまこどもの国自然ふれあいクラブ

TEL.0276-22-1448

防犯訓練を実施しました ～スタッフ、新しい防犯用具に挑戦～

3月3日、ぐんまこどもの国児童会館では、犯人に扮した警備員を児童会館のスタッフが防犯用具「さすまた」を使って取り押さえたり、護身術の基礎を教わったりといった防犯訓練を行いました。

各地の公共施設でも導入が進んでいる「さすまた」は、時代劇の捕り物などで見かける先がU字に2つに分かれている長い棒状の道具です。時代劇とは、少々驚きのこの道具。一見時代錯誤と思われそうですが、指導を受け実際に使ってみると、何をかわからない相手に遠くから対することができ、力の入れ方、場所などをきちんとマスターすれば、相手の動きを封じることでもできる、とても理にかなった道具だと感じました。

訓練は参加したスタッフ全員が体験できるまで繰り返し行い、犯人役の警備員さんも汗をかきながら真剣に取り組んでくださいました。また、仮想の犯人相手について遠慮がちになってしまう私たちスタッフでしたが、警備員さんの「子ども達の親になった気持ちで、力を入れて!!」という言葉が心に響きました。

昨今、学校やデパートなど身近な場所での、凶悪な事件が相次いでいます。たくさん子ども達が遊びに来てくれる児童会館だからこそ、安全に楽しく過ごしてもらいたい。そんな気持ちをこめて、これからも職員一同、防犯に取り組んでいきたいと思ひます。



編集後記

春、暖かなよい季候で、子ども達もところせましと飛び回っています。しかし、館内には春眠暁を覚えず?うつらうつらの大人達の姿もちらほら。きっと毎日元気な子どもを追いかけて、がんばってるんですね。お疲れ様です。